

ASEAN自動車市場は環境重視に向かう

◆市場低迷からの脱却が期待されるASEAN自動車市場

2016年5月、ASEAN主要国で自動車販売台数は前年比2ケタ増となり、前年比の伸びは15年～16年初のマイナスから徐々に上向いている。タイではマイカー購入奨励策を展開した12年に販売台数は140万台超に膨らんだが、その後、市場は縮小し続けてきた。消費者心理が改善しないなか、最近の販売増は安値販売の結果と指摘され、本格的な回復は12～13年に販売したクルマの買い替え時期となる17年以降と見込まれている。ASEAN最大の市場となったインドネシアでは景気の伸び悩み、富裕層への徴税強化などから価格競争の激化が見込まれている。

ASEAN主要国の自動車販売推移

	販売台数（千台）		前年比（%）					
	2010年	2015年	15年	16年1月	2月	3月	4月	5月
インドネシア	764.7	1,013.3	▲16.1	▲9.8	▲0.6	▲5.4	3.8	11.5
タイ	800.4	799.6	▲9.3	▲13.2	▲10.7	▲2.0	1.7	16.0
マレーシア	605.2	666.7	0.0	▲11.9	▲24.8	▲27.6	▲6.7	▲12.8
フィリピン	168.5	288.6	22.9	27.6	21.7	16.8	30.3	31.0
ベトナム	111.7	209.3	56.6	35.8	16.2	52.6	38.1	33.1

（資料）ASEAN AUTOMOTIVE FEDERATION STATISTICS <http://www.asean-autofed.com/>

◆燃費重視のASEAN消費者、政府はエコカーを優遇

6月に経済産業省が公表した報告書によれば、ASEANの消費者は自動車を購入する際、車両価格よりも燃費の良さを重視している。燃料価格が割高で購入後の保有・維持費用を勘案しているほか、政府も燃費の優れたエコカーを優遇する政策を展開している。エコカー優遇策をもつタイやインドネシア、マレーシアでは燃費規制が設けられており、タイでは排出ガス規制でEuro5基準を適用している。

3月にはタイで電気自動車（EV）普及に向けたロードマップがまとめられ、日本との間では次世代自動車に関する協力書簡が交換されている。 【長谷川雅史】

ASEAN主要国の自動車に関する環境規制

	燃費規制	排出ガス規制
インドネシア	エコカー：20km/L以上	Euro2（12年～Euro4目標も未移行）
タイ	エコカー：23.3km/L以上	Euro4、エコカー：Euro5
マレーシア	エコカー：車両重量ごとに設定	Euro3、16年～Euro4、18年～Euro5
フィリピン	なし	Euro3、16年～Euro4
ベトナム	なし	Euro2、17年～Euro4、22年～Euro5

（資料）経済産業省「新興アジアにおける自動車の需要動向等調査事業報告書」（2016.3）